

特報!

集中豪雨の
つめあと



▲山津波が町の中央を走った(竜ヶ岳町)



▲上天草の病院も土砂で埋った(竜ヶ岳町)



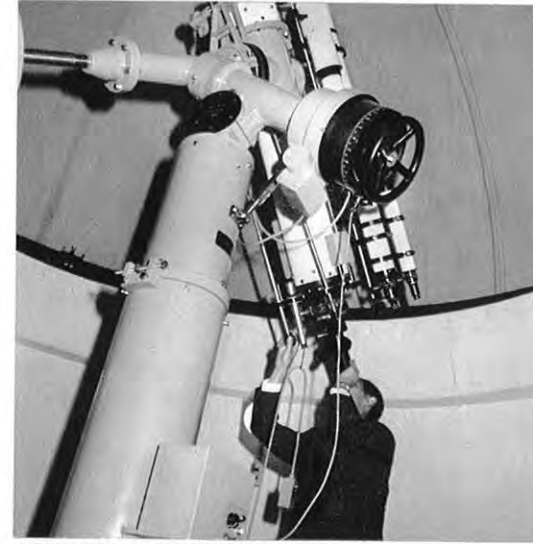
▲沢田知事も被災地をくまなく視察



▲自衛隊も懸命の犠牲者探し(姫戸町)



▲サイの河原と化した部落(倉岳町)



▲理科棟にある天体望遠鏡



▲システム群をむすぶモダンな渡廊下



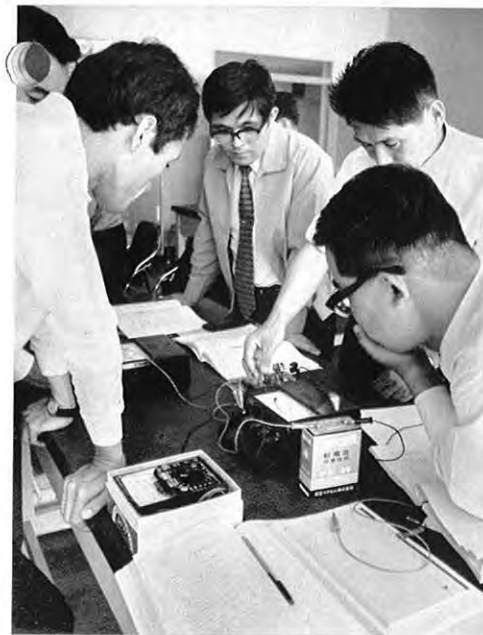
▲”静かな音楽学習、ミュージック・ラボラトリー

画期的な教育科学システム

ことしの4月山鹿市に開設した白亜の県立教育センター。構内に入ると、プラネタリウムと天体観測室を頭にいただいた理科棟がまず目をひく。そして、本館、情報処理棟、技術家庭棟、教育相談棟、研修棟などの建物群が並んで建っている。

県立教育センターは、教職員の研修の場として教育工学や情報処理教育など、これまでにないユニークな教育科学システムを備えており、一方、学校経営、学習指導、進路指導など全科目にわたっているのが特色。ここで研修を受ける教職員は年間3,200人。研修期間は1回が2〜4日。長期研修をして半年から1年のケースもある。

▼ミニTVや集団反応分析器などの新しい教材が自慢



▲家庭電気、家庭機械の研修風景

